

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	9
事業名	林業経費	会計	款	項	目
		一般	6	1	5
施策	4 快適なまち	課名	産業課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	産業振興係		
	4-1-3 景観の形成				
主要施策	①景観の保全				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
事業内容	危険木伐倒等業務 みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務 森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	危険木伐倒本数	121	37	20	本	→	20
2								
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			5,044		4,802		5,420	
財源内訳	直接事業費 A		1,744		1,502		2,120	
	うち一般財源		46		40		808	
人件費 (千円) B			3,300		3,300		3,300	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.50		3,300		0.50	
	臨時職員 (人・千円)				0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	みえ森と緑の県民税市町交付金は、5年ごとで精査することとなり、中学校建設の遅れにより、基金の活用方法を検討する必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、危険木伐倒等の業務を実施した。</li> <li>公共施設の木質化や町の森林整備を効果的に実施するための財源として、交付金の一部を基金に積み立てた。</li> </ul>	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>笹尾、城山地区の外周危険木伐倒について、一定の成果が出たことから、今後はこの水準を維持する。</li> <li>交付金の一部を基金へ積み立て、公共施設の木質化等を推進する計画に基づき、5年間の縛りについて、県に対して緩和措置を講じるよう協議する。</li> </ul>